

# 生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に～



## # 29 「協力者」という視点で関わってみる】

令和6年7月30日に、広まちづくりセンターで開催された第35回非行防止対策研究会において、広島少年鑑別所・広島法務少年センター 地域非行防止調整官の石木 道世さんが「非行・問題行動のある子どもの理解～非行臨床の現場から」と題して講演されました。



この研究会の報告書に掲載されている講演のまとめを引用します。

罰を与えるだけで非行や問題行動がなくなることはありません。罰によって一時的には効果があるでしょう。しかし、その効果は長続きせず、罰を与える人が目の前にいなければすぐに再発することが知られています。

結局、長期的に再非行を防ごうとするならば、困りごとに適切に対処できるようになることが一番なのです。少年たちが困りごとから逃げず、その解決に向かっていくために必要なのは、「困りごとを理解してもらえる体験をすること」、そのうえで「非行以外の解決・対処方法を知ること」そして、このことで、うまくいった、良かつたと感じられるような「良質な体験、良質な人間関係をもつこと」です。要するに、「協力者」の存在が不可欠だと感じています。

令和6年11月5日（火）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ

